

人口減少地域における地域・社会資本等のマネジメントに関する研究会
(第1回)
議事要旨

開催地代表挨拶

(藤倉 夕張市長)

- ・当市はコンパクトな街づくりに向けて施策を行っている。
- ・公的住宅の空き家率の適正化、コミュニティの再構築を中心とする社会資本ストックの適正なマネジメントを行いたいと考えている。
- ・人口減少地域における社会資本ストックの適正なマネジメントに向けた新たな枠組み作りにつながる研究を行って頂きたい。

議事

□居住地再編等に関する国等の動きとその有効性と課題について

(瀬戸口 北海道大学准教授)

- ・いわゆるコンパクトシティは東京の発想である。北海道のような地方部では、いかに周辺部の開発を止めてコンパクト化するかという視点ではなく、縮退する周辺部のマネジメントをいかに適切に行っていくかという視点が重要となる。

□対象地域の現状と課題について

(夕張市)

- ・公的住宅の再編計画を検討中である。
- ・計画的な再編による将来的な維持管理費の低下ということも検討対象とされたい。

(上砂川町)

- ・平成 15 年度に策定した公営住宅ストック総合再生計画の見直しを行っている。
- ・虫食い状態となっている地区のコミュニティの崩壊が心配である。高齢者と若年者の組み合わせにより、地区が残るよう検討している。

(歌志内市)

- ・予想以上に人口が減少している。
- ・傾斜地の住宅をメインの道道沿いに集約したい。
- ・老朽化した住宅からの住み替えを検討しているが、予算が厳しい。

(芦別市)

- ・公的住宅は建替で手一杯であり、修繕まで手が回らない。空き家が多くなっ

ており、どう整理するかが課題である。

(赤平市)

- ・平成 16 年度に策定した公営住宅ストック総合再生計画では、公的住宅の集約建替を位置づけている。地域住宅交付金を利用している。
- ・就労者を地域にとどめるよう努力している。

(夕張市)

- ・孤独死の問題もあり、公的住宅の集約は喫緊の課題。空き家率が高い公的住宅を集約化することで、行政コスト、除雪費の削減が図れる。地区全体が集約化されれば浄化槽の維持費の削減にもつながる。

□維持管理・修繕費削減効果の試算について

(高野 北海道大学准教授)

- ・維持管理費の削減としてどのような項目が考えられるのか。
- ・街灯の照明、ごみ収集、スクールバスの運行等の経費も試算に入れてはどうか。
- ・提示された道路舗装の維持管理費の試算については、アセットマネジメントの考え方では無理があるのではないかと考える。市町村道は穴のパッチング、段差の修繕ぐらいであり、次元を分けて考えることが必要となる。過去の維持管理費を越えないような配慮も必要ではないかと考える。

(国土交通政策研究所)

- ・実態とかけ離れた試算ではよくないと考えている。
- ・橋梁のようなストックに関しては危険度の問題もあり、アセットマネジメントによるライフサイクルコストの考え方は必要だと考えている。

(株)ドーコン)

- ・提示した資料をもとにした本研究会の議論を受けて、道路、住宅地、公共施設等を中心に試算したい。各市町のデータの有無に応じて検討したい。

□住民意識の把握と居住地選好モデルの構築について

(瀬戸口 北海道大学准教授)

- ・調査項目が都市住民向きと感じられる。車が運転できなくなったとき、住宅の維持管理ができなくなったときなど、郊外部に住む高齢者が、移転を考へるときの状態を仮定した設問内容とすることが必要だ。
- ・回答者の多くが高齢者であることから、文字の大きさや表現にも配慮する必要がある。
- ・夕張市で実施した住宅再編に向けた意向調査の対象者と重複しないような配慮が必要だ。
- ・平成 19 年度に滝川市と伊達市で短期移転の実験を行った。郊外部では外出できない、住宅の維持管理ができないといった悩みがあったが、中心部に移転すると外出しやすい、通院しやすいとの評価を得た。

(高野 北海道大学准教授)

- ・対象者を想定とした設問となっていない。その点で、アンケート票の改良が

必要だと考える。

(夕張市)

- ・他の国の調査、夕張市独自の住宅再編に向けた意向調査も行っており、回答者の負担とならないよう配慮が必要だ。

□スケジュール他について

(北方建築総合研究所)

- ・夕張市の公的住宅の再編計画を支援しており、意向調査を実施している

(高野 北海道大学准教授)

- ・先日、都市計画学会の北海道支部が発足し、人口減少下の都市計画をテーマに議論した。

(瀬戸口 北海道大学准教授)

- ・地域住宅交付金という制度はあるが、裏負担という問題がある。集落部分の維持費が減る分、移転先の市街の環境整備に投資できるような仕組みを考えることも検討されたい。
- ・空知の産炭地の再編は全国的にも注目されている。本研究において新たな枠組み・方向性が提示されることを望む。

(以上)